

小中学校の土壌（田畑）における放射性物質濃度測定結果

	No.	学校名	試料採取日	測定日	測定試料	検査結果		
						ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
小学校	1	第一小学校	6/19	6/21	土壌(田畑)	不検出	11	不検出
	2	第二小学校		6/21		不検出	15	23
	3	御成小学校		6/21		不検出	不検出	19
	4	稲村ヶ崎小学校		6/21		不検出	不検出	16
	5	七里ガ浜小学校		6/25		不検出	12	25
	6	腰越小学校		6/25		不検出	不検出	14
	7	西鎌倉小学校		6/25		不検出	11	29
	8	深沢小学校		6/25		不検出	13	25
	9	富士塚小学校		6/25		不検出	20	50
	10	山崎小学校		6/25		不検出	不検出	15
	11	小坂小学校		7/9		不検出	13	33
	12	玉縄小学校		7/9		不検出	16	27
	13	植木小学校		7/9		不検出	13	23
	14	関谷小学校		7/9		不検出	11	22
	15	大船小学校		7/10		不検出	18	35
	16	今泉小学校		7/10		不検出	28	62
中学校	17	第一中学校	6/19	7/10	土壌(田畑)	不検出	不検出	19
	18	第二中学校		7/10		不検出	不検出	22
	19	御成中学校		7/10		不検出	不検出	21
	20	腰越中学校		7/11		不検出	15	23
	21	深沢中学校		7/11		不検出	不検出	32
	22	手広中学校		7/11		不検出	不検出	28
	23	大船中学校		7/11		不検出	24	43
	24	玉縄中学校		7/11		不検出	18	33
	25	岩瀬中学校		7/11		不検出	11	20

測定下限値：10Bq/kg

【参考】

1. 農林水産省（平成 23 年 8 月 1 日）

堆肥・土壌改良資材・培土中に含まれる放射性セシウムの暫定許容最大値 400 Bq/kg
→肥料等を長期間使用しても、原発事故前の農地土壌の放射性セシウム濃度の範囲に収まる水準。

2. 原子力災害対策本部

土壌中放射性セシウム濃度の上限値 5,000Bq/kg（平成 23 年 4 月 8 日）

→水田の土壌から玄米への放射性セシウムの移行の指標を「0.1」として、玄米中の放射性セシウム濃度が、食品衛生法上の暫定規制値（500 Bq/kg※1）以下となる土壌中放射性セシウム濃度の上限値が 5,000 Bq/kg です。

※1 平成 24 年 4 月 1 日付で、新たに厚生労働省により一般食品の放射性セシウムの基準値（上限）が設定（一般食品：100 Bq/kg※2）されたことに伴い、土壌中放射性セシウム濃度の上限値を 1,000 Bq/kg と読み替えます。

※2 通常の食生活を送れば、年間線量 1mSv を十分に下回る水準に設定。